



■被災地出張授業……2015年10月13日

これからの時代に求められる人材像



講師：木川 眞 政治改革委員会 委員長(ヤマトホールディングス 取締役会長)

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトによる被災地出張授業を、宮城県農業高等学校で行った。今回は、木川眞政治改革委員会委員長が講師を務め、生徒約100人を前に、これからの時代にどのような人材が求められるのかについて語った。

世の中に好奇心を持ち「なんでだろう？」と考える

私が高校生活を送ったのは約五十年前のことです。当時の日本は高度成長期で、旧西ドイツを抜いて世界第二位の経済大国になるなど、社会全体に活気がありました。これに対して現在は、経済的には厳しい状況にあります。しかし、個人の可能性は、今の方が広がっているのではないかと私は考えています。当時は人々の価値観が同じ方向を向いて、「大きいことはいいことだ」というCMがはやるなど、大きさや強さ、見栄えの良さが求められる時代でした。また、「社会人は組織の中で機械の歯車のように働く」と言われていました。しかし、今は機械のパ

ツも多様な機能を持つ時代になったように、価値観が多様化して、社会人に求められるものも大きく変化しています。

そこで私は、皆さんに五つのことを身に付けてもらいたいと思います。一つ目は「世の中を常に好奇心を持つてみる目」です。すべての人が同じことに好奇心を持つ必要はありません。一人ひとりが自分の興味を持てる領域を見つけて、その領域に関しては「なんでだろう？」と常に考えるようにしてください。

多様な価値観を受け入れ変化を敏感に感じ取る

二つ目は「多様な価値観を受け入れる柔軟性」です。日本人もどんどん外国人との接点を持つようになってきました。

日本人と外国人では価値観が異なることもありますが、これからは違う価値観を持つ人たちと、新しい社会をつくることが求められています。柔軟性を持ち、お互いを認め合いながら、自分の意見もきちんと主張しなければなりません。これはとても大切なことなので、そのような訓練をしてもらいたいと思います。

三つ目は「ちょっとした変化を敏感に感じ取る感性」です。一見すると同じように見えることでも、「これって、昨日とは少し違うんじゃないか」と感じた経験はないでしょうか。微妙な違いに気付く感受性が、これからの時代には必要です。教わった通りに物事を頭に入れるのではなく、自分で確かめながら、変化しているものを素直に受け止めるようにしてください。

何もしいことは罪失敗を恐れずチャレンジを

四つ目は「それを先取りして形にするデザイン力」です。簡単に言うと、世の中で面白いことが起こっていたら、「自分ならこうする」「こうしたら面白いことができる」と考えて実行することです。新しい技術を開発してもいいし、プレゼンテーションをしたり、意見やアイデアを出すのでも構いません。それらすべてがデザイン力なのです。世の中の「流れ・変



化・動き」に興味を持ち、少し先を読んで形にしてください。

五つ目は「恐れずチャレンジする意欲」です。どんなに良いことを考えても、実際にやってみなければ意味はありません。失敗するかもしれませんが、それでも挑戦してみましょう。そういう人が増えていけば、日本はどんどん良くなっていくはずです。

以上の五つのポイントについて、私は自社の若い社員にも話をしています。全

部を実行するのは難しいですが、私は五つのうち二つくらいは自信を持って実行していると言えます。皆さんも、一つでも二つでもいいから自信を持って行動できるようにしてください。さらに集まってチームを組めば、素晴らしいことが成し遂げられるはずですよ。

人生は紆余曲折があり、さまざまな困難が待ち受けているものです。そんなとき、私が心の支えにしている座右の銘が「為さざるの罪」です。自分で真剣に考え、

こうあるべきだと思ったら思い切って行動すべきです。失敗を恐れて何もしないことは、果敢にチャレンジして失敗することに比べて、ずっと罪なことですよ。失敗を恐れてはいけません。若いうちは失敗した数だけ成長できるものです。

皆さんは東日本大震災に直面しました。人間は試練を乗り越えることで強くなっていきます。この大きな試練を前向きに乗り越えてくれることを願っています。

質疑応答

Q 経営者が求める人材についてのアンケートで、「コミュニケーション能力」が最も多いという結果を見ました。それはどうやって身に付けられるのでしょうか。

A 企業経営で最も大切なのは、「こうしたい」という思いを伝える力だと思います。これこそがコミュニケーション能力であり、重要なものです。先ほど私がお話しした「多様な価値観を受け入れる柔軟性」にも関係してきます。良好なコミュニケーションを築くには、

一方的に自分の主張ばかりしてはいけません。「この人にこういうことを伝えたい」というのと同時に、「この人はどういうふうにかこれを受け止めるのだろうか」と考えながら、コミュニケーションをしなければいけないのです。

同じことを伝えるのでも、頭ごなしに伝えるのか、あるいは優しく丁寧に説明するのか。それによって相手の受け止め方が違うし、反応も変わってきます。自分をうまくコントロールしながら話をすることが大切です。

もう一つ大切なことは、誰かに自分の意見を言える、表現できる技術です。



せっかく良いことを考えても、それを言葉で表現できなければ、もどかしい思いをすることになります。そうならないように、自分の思いを言葉で表現する技術を身に付けてください。他人の意見に耳を傾けながら、自分の意見をきちんと伝える努力を積み重ねてほしいと思います。

生徒の感想

●一番習得したいと思ったのが「ちょっとした変化を敏感に感じ取る感性」です。これは友達の変化にも気付くことだと思います。もし、友達のつらい思いに気付いてあげられたら、助

けることができるかもしれません。そして、「恐れずチャレンジ」をしていけば自分の何かがきつと変わるのだと思います。

●私は失敗を恐れることよりも、失敗したら人にどう思われるかを心配して積極的になれませんでした。今日の講義を聴いて、「失敗した数だけ強くなる」を自分のポリシーにしようと思いました。若いうちに多くの挑戦をして、失敗したらその分成長すると思ひ、何事にもチャレンジしていきたいです。

●私は農業をするつもりです。農業にもコミュニケーションが大切だと分かりました。そのためにもしっかりと人の

話を聞いて、コミュニケーション能力を身に付けていきたいと思っています。

●今回の講義を聴いて、自分にはまだまだ可能性があると思えてきました。今、日本は成長していないという話を聞きます。昔、大きな成長をした日本が、今は止まっている、そんな悲しい状態なのかもしれません。私も社会の一部として、できることを恐れずにチャレンジし、誰かのためになりたいと思います。

●今日の講義を聴いて意外だったのは、五つある重要なことのうち、木川さんは二つしか当てはまらないということでした。当然すべて当てはまっているから今があるのだと思ひ込んでいました。私は一つしか自信がありませんが、一つでも多く身に付けられるよう頑張りたいと思います。

●「為さざるの罪」という言葉が、今の私たちの世代に必要なであると思ひました。私たちは思ったことを行動に移したりすることがなくなってきていると思ひます。これからの生活で活用していきたいと思ひます。